

令和6年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：富山大学経済学部

代表学生：堂湯 正翔

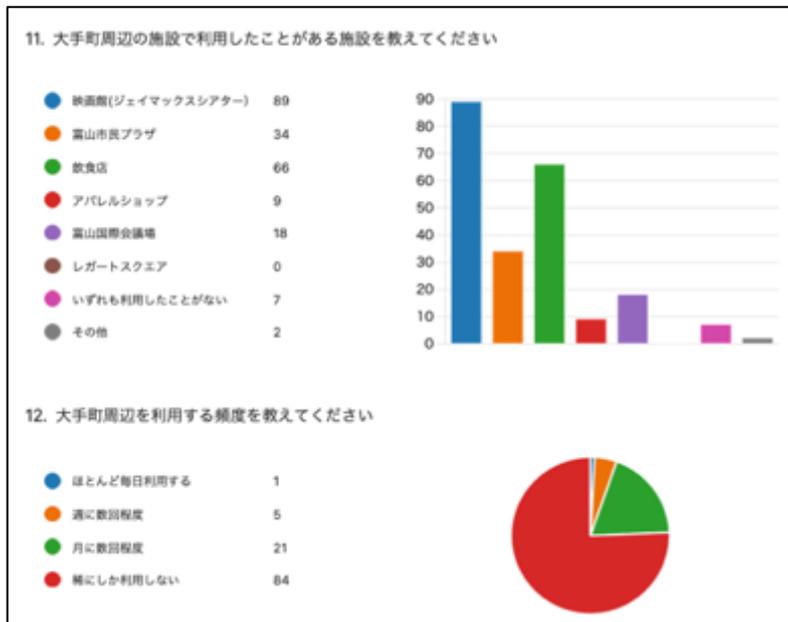
指導教員：井坂 友紀

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>「学生で賑わう大手モール」の実現可能性に関する研究 (課題研究部門：富山市活力都市創造部まちづくり推進課)</p>
<p>研究概要</p>	<p>本研究では富大生を大手町周辺に呼び込むための調査・企画を通じて、「学生で賑わう大手モール」の実現可能性を探る。富山大学五福キャンパスは大手モールから市電でわずか10分程度の距離に位置する。ここには現在7,000人もの学生が通っているが、大手町周辺を訪れる機会はおそらくかなり限られている。フィールドワークでは、(1)富大生対象の大手町周辺認知度等調査 (2)チラシやSNSを通じた戦略的広報活動 (3)「越中大手市場」における富大生ブースの継続出店 (4)映画館等利用客の滞在時間延長策等を展開する。賑わいづくりが課題の大手モールと五福キャンパスに通う多くの学生たち—この両者を結びつけるシンプルだがインパクトの大きい試みである。</p>
<p>これまでの活動状況と 今後の活動予定 (300字程度)</p>	<p>これまでの私たちの主な活動は以下の3つに整理できる。</p> <p>第1は、富大生対象の大手町周辺認知度等調査の実施である。経済学部の学生を対象に行なったこのアンケート(回答者数150名)からは、大手町への訪問頻度が少なく、毎月開催のマルシェイベント「越中大手市場」の知名度も高くないこと等が明らかになった。</p> <p>第2は、「越中大手市場」への出店・調査活動である。6月7月の2回にわたり近隣のパン屋さんのおすすめ商品を販売するブース出店を行い、SNSやチラシを通じて学生へのイベント周知活動を展開した。当日はお客様アンケートも実施し、大手町への訪問頻度や交通手段等を調査した。</p> <p>第3は、JMAX THEATER とやま様との共同企画である。映画館を訪れた方の大手町滞在時間延長策の可能性を探るべく、映画の半券チケットサービス(私たちのブースで販売するドリンクの割引)を企画・実行した。</p>

当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。

今後も（これまでと同様に）当初予定通りに活動を展開するが、10月以降の活動に関して予算の配分を一部変更することとした*。

*これまでの活動実績を踏まえ、交通費予算を減額する一方、会場使用料等を増額することとした。なお、本件については、すでに事務局を通じて報告（依頼）し、ご了承をいただいている。



学内アンケート調査結果(一部)



学内掲示チラシ



出店に向けての議論



越中大手市場への出店



映画半券サービスチラシ



JMAX THEATERとやま様のご協力



6月30日(日)付富山新聞1面
(北國新聞社様より著作物使用許諾を得て掲載しています。)